

## ■編著者紹介

### 【編者】

高部優子 (Takabe Yuko)

プロローグ・第1章・第6章・エピローグ

#### 現職

高校社会科教員、NHK デイレクターを経て、平和教育映像制作会社ビープロダクション代表取締役、明星大学兼任講師

#### 学歴

清泉女子大学大学院地球市民学専攻 修士

横浜国立大学都市イノベーション学府 博士

#### 著作

「紛争解決教育における映像教材開発のための試論——アニメーション『みんながHAPPYになる方法』の事例より」(関係性の教育学会、2016年)

「日本における平和創造力を涵養する積極的平和教育の構築——平和教育実践者と紛争解決支援者の視点から」(横浜国立大学博士論文、2021年)

奥本京子 (Okumoto Kyoko)

プロローグ・第2章・エピローグ

#### 現職

大阪女学院大学国際・英語学部教授、東北アジア地域平和構築インスティテュート (NARPI) 運営委員会副委員長

#### 学歴

英国ランカスター大学大学院政治国際関係学研究科 修士

神戸女学院大学大学院文学研究科 修士、博士

#### 著作

『平和ワークにおける芸術アプローチの可能性——ガルトウングによる朗読劇 *Ho'o Pono Pono: Pax Pacifica* からの考察』(法律文化社、2012年)

「紛争転換と芸術——動態的平和を模索して」平和研究39号 (2012年)

「安全保障アプローチから紛争転換を軸とした平和アプローチへの移行」黒澤満編『国際共生と広義の安全保障』(東信堂、2017年)

「ストーリー (もの語り) が持つ意味——平和ワークにおいてファシリテーションが何をなしうるか」大阪女学院大学紀要15号 (2019年)

笠井 綾 (Kasai Aya)

プロローグ・第3章・第4部⑥・エピローグ

#### 現職

宮崎国際大学国際教養学部専任講師、カリフォルニア州認定心理士 (LMFT)、表現アーツ・ファシリテーター

#### 学歴

カリフォルニア統合学研究所イースト・ウエスト・サイコロジー研究科 博士

カリフォルニア統合学研究所カウンセリング心理学 修士

タフツ大学・ボストン美術館附属学校 学士

著作

「こころとからだで考える歴史：HIROSHIMA STORIES コミュニティーワークの自己治癒力」関則雄編、『新しい芸術療法の流れークリエティブ・アーツセラピー』（フィルムアート社、2008年）  
“Out of the Shadow: A Collective Arts Performance for the Black Rain Hibakusha,” *Journal of Applied Arts & Health*, Vol.7, No.2, (共著) 2016.

【著者】

ロニー・アレキサンダー (Ronni Alexander)

監修、第4章・第IV部 ⑦

現職

神戸大学大学院国際協力研究科教授、学長補佐（ダイバーシティ担当）、神戸大学男女共同参画推進室長

学歴

国際基督教大学大学院博士前期課程 修士  
上智大学大学院博士後期課程 文学博士

著作

『ポーポキのマスクギャラリー〜コロナ禍でアートを通して日常の安心を探る〜：Popoki's mask gallery: Searching for everyday *anshin* through art during the COVID-19 Pandemic』神戸大学出版会（2022年発刊予定）（日英）

“Teaching Peace with Popoki,” *Teaching Peace and War: Pedagogy and Curricula*, Wibben, Annick and Donahue, Amanda, eds., Routledge, 2020.

“Some Questions from Popoki to Betty Reardon about Human Security, Gender and Teaching/Learning/Creating Peace,” *Exploring Betty A. Reardon's Perspective on Peace Education: Looking back, looking forward*, Snauwaert, D., ed., Springer, 2019.

『ポーポキ、平和って、なに色？ ポーポキのピース・ブック1』（*Popoki, What Color is Peace? Popoki's Peace Book 1*）（エピック、2007年）（第2版2008年、第3版2008年）

中原滯佳 (Nakahara Reika)

第5章

現職

新潟国際情報大学兼任講師、新潟国際情報大学国際交流ファシリテーター推進員

学歴

新潟大学教育学研究科博士前期課程 修士  
新潟大学現代社会文化研究科博士後期課程在籍中

著作

「フレイレと平和教育」人間と教育110号（2021年）

『『実践としての平和教育』序説：ローゼンバーグとフレイレのあいだで』新潟国際情報大学国際学部紀要4号（2019年）

松井ケティ (Matsui Kathy)

監修、第6章

現職

清泉女子大学文学部教授、清泉女子大学ウエルネスセンター長

## 学歴

Teachers College Columbia University Tokyo, Japan 修士

米国ワシントン州スポケーン・ゴンザガ大学 博士

## 著作

『地球市民学を創る——地球社会の危機と変革のなかで』（共著、東信堂、2009年）

*Lessons From WWII Comfort Women: The Role of Peace Education in Developing Capacities for Forgiveness and Reconciliation*, Lambert Academic Publishing, 2012.

“Shared reflections and learnings from Betty Reardon—Action planning models: National and international partnerships in Asia,” *Exploring Betty A. Reardon's Perspective on Peace Education: Looking back, looking forward*, Snauwaert D., ed., Springer, 2019.

## ベティ・リアドン (Betty A. Reardon)

## 第7章

### 現職

コロンビア大学ティーチャーズカレッジ平和教育センター創設理事

### 著作

*Comprehensive Peace Education: Educating for Global Responsibility*, Teachers College Press, 1988.

*Learning to Abolish War*, Hague Appeal for Peace, 2002 (共著).

*Participative inquiry and practice*, Sage, 2001 (共著).

## 暉峻僚三 (Teruoka Ryoza)

## 第8章

### 現職

川崎市平和館専門調査員、駒澤大学・中央大学兼任講師

### 学歴

英国パーミンガム大学ロシア東欧学センター 修士

奥国ヨーロッパ平和学大学センター 修士

### 著作

「平和学からみたレイシズム」廣岡守穂編『社会が変わるとはどういうことか?』（有信堂高文社、2019年）

「憲法理念からのネイション意識の再構築」平和研究52号（平和研究と憲法）（2019年）

「公立平和館の役割と意義 川崎市平和館と平和学を視点として」住民と自治 8月号（特集 平和の伝えかた、育てかた）（2018年）

## 鈴木 晶 (Suzuki Akira)

## 第9章

### 現職

横浜市立東高等学校（社会科）

### 学歴

フェリス女学院大学大学院国際交流研究科 修士

### 著作

『旅行ガイドにないアジアを歩く マレーシア』（共著、梨の木舎、2010年）

『旅行ガイドにないアジアを歩く シンガポール』（共著、梨の木舎、2016年）

『旅行ガイドにないアジアを歩く 横浜』（単著、梨の木舎、2020年）